

ひびきあい

学校だより7月号

令和8年6月30日

横浜市立新田小学校

心をつなぐ「あ・い・さ・つ」の力

校長 近江 学



梅雨の晴れ間に、あじさいが青空に鮮やかに映える季節となりました。令和8年度のスタートから3ヶ月、早いもので7月を迎えると、夏休みまでの登校日数はあと13日となります。

今、校内には子どもたちの輝く姿が溢れています。学校にすっかり慣れた1年生の元気な笑顔、まち探

検や校外学習で目を輝かせた低・中学年、そして宿泊体験学習で仲間と協力することを学んだ5年生や、修学旅行で最高学年として頼もしさを増した6年生。さらに学年をこえて活動する異学年交流など、様々な行事を通して、子どもたちはたくましく成長しました。こうした体験を通して育まれる「自分を律する力」や「他者と協働する力」は、目には見えませんが、これから先を自らの足で歩いていく子どもたちにとって、社会を生き抜くための基盤となる大切な成長です。

こうした「自分から一歩踏み出す力」が、一番身近な姿として現れるのが、毎日の「挨拶」です。毎朝、昇降口で子どもたちを迎えていると、元気いっぱいの声、照れくさそうな微笑み、丁寧な会釈、自分から進んで声をかけてくれる子など、さまざまな形で気持ちを届けてくれます。どのような形であっても、その「相手に気持ちが伝わること」こそが、何より大切であると考えています。

そこで本日(6/30)の全校朝会では、この成長を温かなつながりにしていくために、「あ・い・さ・つ」の4つの合言葉を伝えました。

「あ」かるく (にっこり えがおで まわりを あかるくしよう)
「い」つも (どんな ときでも いつでも つづけよう)
「さ」きに (あいてを またずに じぶんから あいさつしよう)
「つ」ながろう (ちいきやかぞく たくさんのひとと ところを つなごう)

挨拶の積み重ねは、子どもたちの能動的な成長を促すとともに、思いやりや安心の輪を広げる土台となるでしょう。まもなく始まる夏休みには、ぜひご家庭や地域でも、この「あ・い・さ・つ」を意識し、周りの人を笑顔にするだけでなく、子どもたち自身の安心・安全を広げてほしいと願っています。

前期前半の締めくくりとなる残り13日間、子どもたちの素敵な挨拶を響かせ合いながら、温かく見守ってまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。